



全自交東京

全国自動車交通労働組合
 東京地方連合会
 〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷3-7-9
 TEL03-3408-0876
 FAX03-3408-0880
 発行責任者 書記長 本田明広

全自交東京地連第127回定期大会

全自交東京地連は、10月29日第127回定期大会を新宿区四谷区民ホールにて開催し、2024年度の運動方針・予算などを決定しました。大会には、総勢約180人が参加し、「ライドシェア新法絶対阻止」に対する運動の継続や、「衆議院議員選挙」での立憲民主党の躍進を受け、政権交代への実現など、今後の期待に満ちた大会となりました。

全自交東京地連は、10月29日四谷区民ホールで第127回定期大会を開催しました。松本和也副執行委員長（京自労）の開会挨拶で始まり、議長に鈴木俊勝さん（京自労）、書記に松原光明さん（大和）の両名を選出いたしました。つづいて堀田貴彦資格審査委員長（京自王）より資格審査結果の報告を受け、議長より大会の成り立ちが宣言された後、星元陽（日交労）大会運営委員長による議事日程の提案が確認され大会が始まりました。



掛川正一副執行委員長による団結ガンパロー

病気療養中で欠席の内田亨執行委員長（天和）に代わり、掛川正一副執行委員長（帝都）が行いました。挨拶の中で掛川副委員長は先の衆議院議員選挙での立憲民主党の躍進に触れ、「自公政権の一方的な決め方に対して国民がノーを突き付けた。この結果により政権交代にリアリティが出てきた」とし、「われわれと政策協定を結んだ22人が当選を果たし、国政の場へと送り出すことができました。本日お越しの都議会立憲民主党の議員の方たちと共に、ライドシェア新法阻止や地域公共交通を守る運動に取り組んでいただきたい」と述べました。また、来年夏に行われる参議院議員選挙

と東京都議会選挙にも触れ、「この流れを都議選・参議院選へと繋げていき、その中でも交通運輸政策の先頭に立って活躍されている森屋たかし参議院議員を是非とも国政へと送り出していかねばなりません。どうぞ皆さんのご協力をお願いしたい」と述べました。

で抱える労働争議にも触れ、「ライドシェア導入勢力という外敵に対し、労使一体とならなければならない時に、何も分かっていない経営者には、東京地連が一体となってノーを突き付け、全国のハイタク労働者の先頭に立って運動を前進させる牽引役となっていたきたい」と訴えました。

その他、佐々木珠・連合東京副事務局長、高島康彦・東京交運労働副議長、東京都議会立憲民主党から中村ひろし都議、西沢圭太都議、関口健太郎都議、須山たかし都議、東京共同法律事務所・猿田佐世弁護士、西東京法律事務所・森井利和弁護士、中央労働金庫東京本部・座光寺成夫常務理事、こくみん共済コープ東京推進本部・長松事務局長、以上の来賓の方々よりそれぞれのお立場からお祝いのご挨拶を賜りました。

その後大会は、本田明広東京地連書記長による2023年度活動経過報告、玉川禎財政部長による2023年度会計決算報告、小糸幸吉会計監査による会計監査報告へと進み、その後の議事では、第一号議案「2024年度運動方針案」が本田明広書記長より、第二号議案「2024年度予算案」が玉川禎財政部長からそれぞれ提案がなされ、質疑応答を経て全体の拍手にて確認決定されました。

2024年度運動方針決定

その後、議長団の解任降壇に続き、菊池るみ東京地連副執行委員長（東洋交通労組）による閉会の挨拶があり、第127回定期大会の締めとして、掛川副執行委員長によるライドシェア新法阻止に向けた力強い団結ガンパローで幕を閉じました。



新年度運動方針を提案する本田明広書記長

東京地連本田明広書記長は、2023年度の活動経過の報告と、2024年度運動方針案を提起いたしました。冒頭、本田書記長は、第50回衆議院議員選挙での各単組の選挙力アップの運動などでの協力に對して、謝意を示すと

自交の中核組織として産別で決定された運動方針を推進し堅持していきます。(2)ライドシェア新法断固阻止の運動とタクシーが地域公共交通でどうあるべきか議論を進めていきます。(3)DX化を推進し多様化する利用者のニーズに対応し、人員確保と若年化を求めていきます。(4)ハイタクの機動性を生かし、災害時利用に關し事業者・行政と具体的な政策に取り組みしていきます。(5)連合東京の中で協調行動を展開し、労働組合の原点を維持した闘いを継続していきます。(6)ハイタク交通、制度・政策課題について、連合東京、東京交運労働東京ハイタク労働団体と連携を強化し、要求実現に向けた運動に取り組んでいきます。(7)賃金引上げには、固定給と歩合給のバランスの是正、違法なグレイゾーンの是正、労働条件改善を求めます。以上7項目を新年度の運動方針として提案し、全体の拍手により確認決定いたしました。

新年度運動方針案

続いて、2024年度運動方針案の提案として、(1)東京地連は全

全 自 交 労 連 第 82 回 定 期 大 会

ライドシェア新法絶対阻止・公共交通は我々が守る



主催者挨拶に立つ溝上中央執行委員長

全自交労連は10月15日、16日の両日、兵庫県神戸市の神戸産業振興センターにて、全国から役員、中央委員、代議員、傍聴を含め200名が集結し、第82回定期大会を開催しました。「ライドシェア新法絶対阻止、地域公共交通は我々が守る」をメインスローガンに活発な討議が行われました。また、サブスローガンに、「他産業を上回る賃金の実現、労働条件改善で仲間を増やす」を掲げました。

大会は、掛川副執行委員長の開会挨拶で始まり、議長に兵庫地連の安尾崇伯代議員、東京地連の大坂清和代議員、書記に富山地連の山中裕士代議員を選出しました。冒頭、北坂隆生兵庫地連執行委員長より歓迎挨拶を受けました。続いて高橋学資格審査委員長長の報告を受け議長より大会成立宣言がなされました。その後、主催者を代表し溝上泰中央執行委員長より挨拶がありました。溝上委員長は現在選挙戦が行われている衆議院選挙での政権交代を強く訴えました。また、ライドシェア新法に「解禁派は、躍起になって来年の通常国会で法案提出を目指し着々と水面下で動いています。今後の選挙結果がライ

ドシェア新法の成立に大きな影響を与えることは間違いありません。我々が支持する立憲民主党による政権交代を実現することが新法を阻止する最大の防護策です。政権交代に向け組合員全員で一層の取り組みをお願いします」と述べました。続いて、水野潔大会運営委員長より大会運営について、会計報告がされ、会計監査報告を成田次雄、鶴沢克己会計監査より報告が有りました。

運動方針案提起

野尻雅人中央書記長は2023年度の活動報告を報告するとともに24年度の運動方針案、予算案を提起しました。野尻書記長は新年度運動方針案について、「ライドシェア新法阻止と同時に、二種免許がなければ本来の安全・安心は担保できないと主張していきます。日本版ライドシェアを継続してやりたいという経営者の言葉は言語道断です。タクシーが充足すれば直ちにやめて頂きます」

と述べました。労働条件改善に向けた取り組みについて
①他産業に負けず物価高を上回る賃金
物価高騰と他産業の賃金アップに負けないだけの賃上げが絶対不可欠です。運賃改定での増収分を確実に賃金に反映させるよう労働分配率の解約を許さない取り組みをしていきます。
②生活を保障できる安定的な賃金
地域の事情を踏まえた、年齢によらず昇給制度や接客・接遇の向上に努め乗客からの評価が高い教務員、介護資格、観光案内、多言語対応スキルを持つ乗務員をこう評価する制度などやりがいのある賃金体系を進めていきます。さらに働きやすい職場改善の取り組みや、雇用の維持については、従業員の雇用を守ることは企業の最も重要な社会的責務であり、労働組合員は、不当な解雇に対しては団結力を発揮し組合員の生活を守るため断固として戦います。加盟組織のご協力をお願いします。

第50回衆議院議員総選挙

今回の選挙で自民党は、改選前の256議席を大きく下回る191議席、公明党は24議席と、与党で過半数を割り込む結果となりました。野党は立憲民主党が改選前の98議席を大きく上回り、148議席を獲得するに至りました。その他、国民民主党が28議席、社会民主党が1議席、れいわ新選組が9議席、日本共産党が8議席、日本維新の会が38議席を獲得する結果となりました。

自民党は裏金事件への国民からの批判を受けて、裏金議員の一部非公認、比例代表重複立候補を認めず、「深い反省のもと「けじめ」をつけたとアピールしている。したが、選挙戦終盤には、非公認となった候補者の政党支部にも党勢拡大のためとして2000万円を支給していたことが明らかとなった。この間の自民党政治・政策への不信・不満も相まったことが今回の結果につながったと言えます。

一方、立憲民主党は、「政権交代こそ最大の政治改革」をスローガンに選挙戦を展開し議席を大幅に増加させたほか、国民民主党も議席を伸ばしました。しかし、立憲民主党と国民民主党の競合区が未だ在るなど、連合の求める両党の連携という観点からは課題も残った結果となりました。今回の選挙結果はまさに、政権交代にむけた端緒となるものですが、自民党の「敵失」によるところが大きく、野党第一党である立憲民主党が国民から十分な政権の選択肢と認められているとは必ずしも言えません。国民が求めるのは緊張感ある政治であり、この流れを止めないために、立憲民主党には、国民の生活に直結する政策のほか、経済政策や社会保障、安全保障など、石破政権の政策への対立軸を打ち出し、国会における政策論争の展開を通じて、国民から負託に値する政党とより認識されるよう取り組みを強く期待します。

なお、衆議院議員選挙において各地区連、各単組に於かれましては、選挙カー運転手、ポスター掲示、証紙貼り、公選はがき、街頭演説会などの積極的な取り組みに感謝申し上げます。

第50回衆議院議員選挙 全自交東京地連推薦候補者結果

選挙区	区	域	推薦候補者	現・元・新	政党	結果		
1	第1区	千代田	新宿	海江田万里	現	立民	当選 小選挙区	
2	第3区	品川	島嶼部	あべ裕美子	新	立民	当選 比例	
3	第5区	世田谷東		手塚仁雄	現	立民	当選 小選挙区	
4	第6区	世田谷西		落合貴之	現	立民	当選 小選挙区	
5	第7区	港	渋谷	松尾明弘	元	立民	当選 小選挙区	
6	第8区	杉並区		吉田晴美	現	立民	当選 小選挙区	
7	第9区	練馬区西		山岸一生	現	立民	当選 小選挙区	
8	第10区	文京区	豊島区	鈴木庸介	現	立民	当選 比例	
9	第11区	板橋区		阿久津幸彦	元	立民	当選 小選挙区	
10	第13区	足立区		森 洋介	新	国民	当選 比例	
11	第14区	墨田区	足立区一部	伊藤なな	新	国民	惜敗 小選挙区	
12	第15区	江東区		酒井菜摘	現	立民	当選 小選挙区	
13	第16区	江戸川区		柴田勝之	新	立民	当選 比例	
14	第18区	武蔵野市	小金井市	西東京市	松下玲子	新	立民	当選 比例
15	第19区	小平市	国分寺市	国立市	末松義規	現	立民	当選 小選挙区
16	第21区	立川市	日野市	八王子一部	大河原雅子	現	立民	当選 小選挙区
17	第22区	三鷹市	調布市	狛江市	山花郁夫	元	立民	当選 小選挙区
18	第23区	町田市		伊藤俊輔	現	立民	当選 小選挙区	
19	第24区	八王子市		有田芳生	新	立民	当選 比例	
20	第26区	目黒区	大田区一部	松原 仁	現	無	当選 小選挙区	
21	第27区	中野区	杉並区一部	長妻 昭	現	立民	当選 小選挙区	
22	第28区	練馬区東		高松さとし	新	立民	当選 小選挙区	
23	第29区	荒川区	足立区西部	木村たけつか	元	立民	惜敗 小選挙区	
24	第30区	府中市	多摩市	稲城市	五十嵐依里	新	立民	当選 小選挙区

加盟組織の皆様ご協力ありがとうございました